

平成30年度 第1回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会概要

○日時：平成30年10月10日（水）19時00分～20時30分

○場所：県庁舎29階第1特別会議室

○出席者：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会 委員 計13名

事務局 保健予防課・医務課・国保援護課 計8名

傍聴人 計7名

○配付資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・協議会設置要綱
- ・資料1 群馬県の慢性腎臓病の現状
- ・資料2-1 平成29年度保健医療従事者向け研修会
- ・資料2-2 平成29年度県民公開講座
- ・資料2-3 平成29年度健康フェスタ
- ・資料2-4 ホームページ閲覧数
- ・資料3 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム
- ・資料4-1 平成30年度慢性腎臓病に関する健康フェスタ資料
- ・資料4-2 平成30年度保健医療従事者向け研修会資料

○会議内容

1. 開会

2. あいさつ

群馬県健康福祉部保健予防課長

平成24年度に本協議会を発足し、今年度で7年目を迎えた。昨年度より、ビッグデータを活用したデータ分析を行っており、今後慢性腎臓病の発症リスク等を解析出来ればと考えている。本日は主に、慢性腎臓病に関する普及啓発事業や人材育成などについて、御協議いただく予定である。限られた時間の中での協議だが、委員の皆様方には、忌憚のない御意見をいただきたい。

群馬県慢性腎臓病対策推進協議会長

本日は、本会議が中心となって行った事業の報告や今年度の事業について検討していきたい。特に、平成28年度より開催している健康フェスタについて、より良くするためにはどうすれば良いか議論いただきたい。また、本県は、糖尿病が原因で人工透

析になる割合が高い状況にあり、今年度より、群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラム策定検討会議が発足され、腎臓病の重症化予防が議論されている。本会議でも、腎臓病の重症化予防に焦点をあてて、人工透析患者減少に向けて検討していきたい。

3. 委員紹介

4. 議事

(1)報告事項

①群馬県の慢性腎臓病の現状について、平成29年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告

<説明概要>

- ・事務局より資料1、資料2-1、2-2、2-3、2-4を基に説明
- ・平成28年度の特定健康診査のデータ(市町村国保・全国健康保険協会)を用いて分析を行った。eGFR 60(mL/min/1.73m²)未満は約10%強であり、70歳～74歳では約20%であった。尿蛋白+以上の群で、男性は約3人に1人が、女性は約4人に1人はeGFR60(mL/min/1.73m²)未満であった。また、新規透析導入患者のうち糖尿病性腎症の割合は、群馬県は全国と比較して高い状況であった。
- ・平成29年度は、協議会を1回(9月20日)、保健医療従事者研修を3回(9月28日、1月30日、3月1日)、県民公開講座を1回(3月17日)、健康フェスタを1回(3月3日)開催した。
- ・県のホームページ閲覧数は、平成29年度は1358件・平成30年度4月1日から9月31日(6ヶ月分)は785件であった。

<質疑・意見 等>

(廣村会長) 資料1のデータ分析に関して、全国との比較や地域差なども出れば良いかと思われるが、どこまで分析する予定か。

(事務局)地域差等、御意見・御希望があれば、出来る限り要望に応えられるように分析を進めていきたい。

(川島委員)資料2-3の「健康フェスタの案内をどこで知ったか」について、「当日会場で知った」は約半数であるが、「上毛新聞の記事」は7.1%と少なく、今回のアンケート結果を参考に、今後の広報の仕方を検討していただければと思う。

(植木委員)資料1の透析導入の原疾患については、診断する医師により、ばらつきがあるのかもしれない。また、群馬県は慢性透析患者の数が多いとあるが、治療成績が良く生命予後が良い場合があり、必ずしもマイナスではないのかもしれない。逆に、数が少ないことが問題としている県もある。今後、詳しい分析をする必要がある。

(廣村会長)新規透析導入患者数においても、原疾患等をしっかり治療しており、心血

管系等で死亡していないため、透析に至っているのかもしれない。

②群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムについて

<説明概要>

- ・事務局より資料3を基に説明
- ・今年度、県では群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラム策定検討会議を立ち上げ策定作業を進めている。重症化リスクの高い者に対し、かかりつけ医等と連携して受診勧奨や適切な保健指導を行うことで、重症化を予防し、人工透析等への移行を防止し、健康寿命の延伸、医療費適正化を図ることを目的としている。策定主体は、群馬県医師会・群馬県糖尿病対策推進協議会・群馬県保険者協議会・群馬県である。

<質疑・意見 等>

(川島委員)このプログラムは、かかりつけ医と保健師等との連携が重要となってくる。今年度から来年度にかけて、健診異常で発見された糖尿病と糖尿病性腎臓病重症化予防についての研修会を医師・保健師向けに各郡市医師会単位で開催する予定である。研修会を通じて、各関係機関と共通理解を得て、連携を深めて行きたい、

(2)協議事項

平成30年度群馬県慢性腎臓病対策事業について

- ① 慢性腎臓病に関する健康フェスタについて
- ② 慢性腎臓病県民公開講座について
- ③ 保健医療従事者向け研修会について
- ④ 今後のCKDシール活用について

<説明概要>

- ・事務局より資料4-1、4-2を基に説明
- ・今年度もイオンモール高崎にて健康フェスタを開催する予定。3月2日を候補日としている。後日、意向調査を行うが、ご意見があれば伺いたい。
- ・今年度の保健医療従事者向け研修会は、基礎編については9月28日に開催し、栄養指導編については11月9日に開催予定である。3回目については、今年度策定予定の群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムをテーマに開催を考えている。
- ・今年度の県民公開講座は、3月9日高崎で検討している。

<質疑・意見 等>

(溜井委員)2階のイオンホールで腎臓病教室を行った。奥まった場所にあり、呼び込みに工夫が必要である。しかし、来ていただいた人からはしっかり座って相談できて良かったとの意見があった。

(岡委員)会場が2つに分かれていたことはとても良かった。来た人に腎臓病のeラーニングを閲覧して頂くために、高崎イオンのフリーWi-Fiを使いたいが、可能であるか？

(事務局)Wi-Fiに関しては、問い合わせて御連絡する。

(田尻委員)「血管年齢測定」「ストレスチェック」「お薬相談」を行い、多くの方に来場していただいた。今年度の内容は、腎臓に特化した方が良いのか。特化すると対象が絞られる可能性がある。

(廣村会長)「腎機能を知っているか」や、「腎機能が低下している人が注意する薬」等を組み込んでみてはどうか。

(田尻委員)持ち帰って検討する。

(荻原委員)セントラルコートで行ったが、イオンホールに案内する際の地図があれば良いかと思う。

(五十嵐委員)イオンホールで減塩コーナーや栄養相談を行った。試食コーナーは好評であった。イオンホールとセントラルコートの情報連携が出来ればと思う。

(清水委員)臓器提供の意思表示の説明を、腎臓病や透析や食のことについての体験談等と併せて行った。臓器提供の意思表示に関して、敬遠されがちであったので声のかけ方等を考えていかなければならないと感じた。また、グッズのプレゼントだけを目的とした方は、アンケートの記入が終わるとプレゼントをもらってすぐに帰ってしまうのを見かけた。工夫が必要かと思われる。

(廣村会長)今回の御意見を参考にして次回の改善点としたい。会場は前回同様に1階セントラルコート、2階イオンホールの2カ所で良いか。

(委員)異議なし。

(清水委員)周知方法に関して、県内の3つのショッピングモールのモニター画面に映すのはどうか。一般の方に多く見ていただけるかと思う。

(事務局)検討する。

(溜井委員)スタンプラリーは行うのか。行うのであれば1階と2階両方のスタンプを集めるような形式はどうか。

(事務局)1階と2階では距離が離れている点や、2階では必要な人にしっかりと相談を受けてもらいたいと考えて、前回スタンプラリーは行わなかった。

(植木委員)健康フェスタで検尿してはどうか。

(事務局)可否について調査する。

(廣村会長)ミニステージに関しては、意見があるか。

(事務局)会場のメリハリがつき、ミニステージは行って良かったと考える。今回もミニステージを行いたい。

(植木委員)昨年度の県民公開講座は一般の人もあるが患者さんも多かった印象である。患者さんがいることも考慮しながら内容を検討していただければと思う。

(廣村会長)CKD シール及びチラシについて、完成品を印刷し、各郡市医師会の糖尿病性腎臓病重症化予防の研修会等で配ってみてはいかがか。

(川島委員)研修会等で配れば良いと考える。

(事務局)CKD シール及びチラシについて、印刷等含め後日御連絡する。

(樋口委員)前橋市の取り組みについて、糖尿病と併せて腎臓病の普及を行っている。新規人工透析の患者さんは減少傾向にあるが、HbA1c が高値の割合が高く、今からきちんと対策をしていかないと重症化のリスクが増えると推測している。また、重症化予防を進めていく上で、医師会との連携は重要であると考えている。

(柳沢委員)安中市では、数年前から一般市民向けと GFR 区分 3 期向けの研修会を行っている。今年度、特定健診が 3 期となり、来年度どのように研修会を行っていくか検討中である。

(書上委員)伊勢崎地域では、地域・職域連携推進会議で糖尿病予防に関して対策を進めている。今年度は、保健医療従事者向けに糖尿病の基礎知識について 12 月に研修会を開催予定である。今後は糖尿病の重症化予防に移行できたらと考えている。

(廣村会長)協議会の意見を参考に、健康フェスタや他の事業も含め、しっかり対策に取り組んでいきたい。

5. 閉会